

グリーンファイナンスを巡る欧米の動向

BNP パリバ証券グローバルマーケット統括本部副会長
中空 麻奈

2050年カーボンニュートラルを掲げる国が増え、世界の流れは一気にグリーン、サステナブルの方向に舵を切る中、グリーンボンドを含むサステナブルファイナンス市場の拡大が続いている。発行体、発行形態、資金使途、投資家のそれぞれが範囲を広げ、多様化を進めながら拡大しているのが現状である。こうした市場動向をまず共通認識として持つことからスタートする。

続いて、金融市場における投資家の判断がどう変わってきているかに焦点をあて、説明していくことにしたい。ESG投資とはそもそも何で、どうして必要とされるのか。具体的にはどういう投資スキームがあり、現状はどう変化しているのか、などを見ていく。その後、背景に“ESG投資とリターン”について考察していくことにする。株、債券それぞれでESG投資のメリットを整理したい。また、特に債券市場におけるグリーンプレミアム（一般債とグリーンボンドとのスプレッド差）についても説明したい。

さらに、最新の規制動向やキープレイヤーの動き（米国、中国といった大国の動きから各中央銀行の動きも含めて）について、紹介していくことにする。